

みんなでつくりたい あの人とあの人との関係 三人よ水は向と向の知地

夜間高校

通成区秋之葉区5-23
637-4273

あの騒ぎは何だったのか...

学者先生とテレビ・カメラ

十二月九日夜から十日午前中・センター・大正一

十二月十日の朝、センター

に居た仲間は、びつくり

した二ことおもう。事前に

何の伝達もなく、テレビ

カメラ三台と二十数名の学

者先生たちが、センターの

一階を周辺を右往左往して

いたのだから。また、大正

の中山や湯美組などに仕事

に行うた仲間もびつくりし

たかもこれなり。

まこと二日、訳なかつた。

...

ス(朝日)毎日六時から

NHKは六時半から)を見

た仲間は、なるほど、そう

いう二ことだったのか、と判

つてもらえたと思いが、仕

事の帰りなどで見ていない

仲間もたくさんいると思つ

ので、おそくなつたが事情

を伝えたいと思つ。

寿の労働者が青カンして

いる時に少年らに襲撃され

た事件を翌日に結成され

...

在日朝鮮・韓国人の 定住外国人に市民権を!!

益ヶ崎に対する偏見、差別

をなくしていくためには、

多くの人達、とりわけ学者

、文化人に先ず頭を切りか

えてもらい、開心に合流し

てもらふ二ことが大切だと考

え、桃山学院大学学長沖浦

和光さんを始め、大阪市立

大学、関西大学、神戸大学

院大学の先生に、現地、益

ヶ崎に来てもらつたという

のが、女の日の出事の理由

だ。

さて、結果はどうか、と

言われれば、妙く長い目

で見ても下さうい、とお願

する所かないが、今の時

点での成果と思われ二こ

といえば

① テレビを通じて益ヶ

崎に対する労働、民生行

政が不十分である二こと

ある程度伝えられた。(ド

ヤ代が高い↓住居が必要

など)

② 来た先生たちが、本

気になつて益ヶ崎の問題

に取り組む気になつた二

ことなど。

益ヶ崎越冬闘争支援連帯集會

...

ドヤは死にも場所でもある!

ドヤに住むのは不便が多い。高い。九日の晩、日本橋で話を聞いた仲間は、高令のため、三日に一度仕事に行くのが精一杯で、とてもドヤに泊まる余裕はないと言っている。

友達の出入りが多いとほり出される住みかなんてあるのか。ドヤを転々とする仲間も

(2)本籍・住所不詳、氏名自称豊島俊男、年齢六十二歳の男子、身長一六八センチ、丸顔、頭髪は白髪混り、体格普通、茶色長袖スポーツシャツ・ベージュ長袖下着・黄色腹巻・茶色メリヤスパッチ・白色軍足、遺留金品現金五四〇円。雇用保険手帳一冊外六六六。

右の者は、昭和五十九年四月十四日午後六時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋三三六二〇旅館ビル二一〇号室内一畳の間に発見されたもので、同月九日頃(推定)、同所において肋膜炎のため死亡したと思われる。

(3)本籍・住所不詳、氏名自称湯沢進、年齢四十六歳の男子、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十九年四月二十九日午前九時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一九二二ビジネスホテル若松五階五〇八号室にて発見されたもので、同月二十八日午前零時ごろ、同所において肝硬変のため死亡したと思われる。

(7)本籍不詳、住所西成区萩之茶屋一一三三六新光ホテル一〇一号室、氏名自称藤本清州男、年齢四十三歳の男子、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十九年六月二十七日午後十一時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一三三六新光ホテル一〇一号室にて発見されたもので、同日午後八時ごろ(推定)、同所において死亡(死因不詳検査中)したと思われる。

(8)本籍・住所不詳、氏名自称藤原謙二、五十四歳の男子、身長一七一センチ、ヤセ型、遺留金品現金一五五七五円・預金通帳一通・腕時計一個・黒色カバン一個。

右の者は、昭和五十八年七月二十八日午前九時ごろ、大阪市西成区太子一丁目二番一〇号みどり荘内にて発見されたもので、同月二十七日午後一時ごろ同所において肺結核のため死亡したと思われる。

(9)本籍・住所・氏名不詳、五十歳の男子、身長一五七センチ、着衣上着作業服青色・灰色背ズボン、遺留金品腕時計一個。

右の者は、昭和五十八年十一月四日午後十時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋二二七一一三三宿宿ホワイトハウス七七〇三号室内にて発見されたもので、同日午前二時ごろ同所において大葉性肺炎のため死亡したと思われる。

(10)本籍大阪府泉佐野市鶴原一三六七番地、住所大阪府西成区萩之茶屋一一七三三ホテル「大宮」二二二号室、氏名長谷川定一、七十四歳の男子、遺留金品国民年金証書・現金三三〇円・印鑑・腕時計。

右の者は、昭和五十八年十一月十六日午前四時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一七三三ホテル「大宮」二二二号室にて発見されたもので、同日午前三時ごろ同所において、悪性性肺炎のため死亡したと思われる。

(11)本籍自称北海道函館市弥生町四番地、住所自称西成区萩之茶屋一一七三三だいとみホテル五二八号室、氏名美濃英治、四十九歳の男子、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十八年十二月六日午前十時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一七三三だいとみホテル五階五二八号室にて発見されたもので、同日午前十一時ごろ同所において脳挫傷のため死亡したと思われる。

(12)本籍・住所不詳、氏名自称安本、五十歳の男子、身長一五六センチ、着衣紺色ハイネック・白色メリヤス長袖シャツ・紺色作業ズボン・白色パッチ・青色パンツ着用。

右の者は、昭和五十八年十二月十八日午前十一時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一二二二宿宿ホテル「月光」一階一三三号室二畳の間に発見されたもので、同日午前五時ごろ同所において心不全のため死亡したと思われる。

(13)本籍・住所・氏名不詳、性別・年齢不詳、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十八年十二月十三日午前十一時ごろ、大阪市西成区北津守四一一二阪神高速道路高架下排水溝にて発見されたもので、死亡場所・死亡日時・死因等は不明である。

(14)本籍自称倉敷市玉島町阿賀崎一三〇七、住所西成区萩之茶屋三一一〇二五・三和荘、氏名松枝繁、七十四歳の男子、遺留金品現金三、五〇〇円。

右の者は、昭和五十八年十二月二十四日午前十一時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋三一一〇二五・三和荘二階にて発見されたもので、同月二十三日午前十時ごろ同所において死亡(死因不詳)したと思われる。

(15)本籍・住所不詳、氏名自称金中俊也、六十二歳の男子、身長一六〇センチ、中肉、薄ねずみ色ジヤンパー・ねずみ色ズボン・同色セーター、遺留金品指印(金中名義)一個・現金三三〇円。

右の者は、昭和五十九年二月一日午前十時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一七一三宿宿ホーム関西四階四〇二号室前廊下にて発見されたもので、同日午前八時ごろ同所において硬膜下出血のため死亡したと思われる。

(16)本籍大阪府堺市南花田町一―一二、住所自称西成区萩之茶屋二二二二五宿宿ロイヤル六〇一号、氏名松井幸太郎、七十八歳の男子、遺留金品男物腕時計二個・現金二万三三〇〇円。

右の者は、昭和五十九年二月八日午後三時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋二二二二五宿宿ロイヤル六〇一号室にて発見されたもので、同年一月中旬ごろ(推定)同所において死亡(死因不詳)したと思われる。

(17)本籍・住所不詳、氏名自称中田某、六十歳の男子、身長一七〇センチ、遺留金品腕時計二個・現金五五六二円。

右の者は、昭和五十九年二月十七日午後六時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一三二二六宿宿ふくく二階一三三号にて発見されたもので、同日午前一時ごろ同所において脳内出血のため死亡したと思われる。

(18)本籍不詳、住所西成区萩之茶屋一一四一五みよしホテル三二二二二号、氏名吉川次郎、六十三歳の男子、遺留金品現金二八八〇円。

右の者は、昭和五十九年二月二十日午前八時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一四一五みよしホテル三階ベランダにて発見されたもので、同日午前三時ごろ同所において縊死したと思われる。

(19)本籍・住所・不詳、氏名自称三浦勲治、五十九歳の男子、遺留金品現金四千七百十円・腕時計三個・ライター二個・トランジスタラジオ一個。

右の者は、昭和六十年二月二十七日午後三時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋二一六一一三三ホテルキング三階三〇一号室にて発見されたもので、同月二十二日(推定)、同所において肺結核のため死亡したと思われる。

(20)本籍不詳、住居大阪市西成区山王二二二二三第三豊島荘二階一六号室、氏名自称相本真、五十三歳の男子、遺留金品現金二千七百五十円・時計一個。

右の者は、昭和六十年三月一日午後十時ごろ、大阪市西成区山王二二二二三第三豊島荘二二二一六号室にて発見されたもので、二月二十七日、同所においてアルコール性心不全のため死亡したと思われる。

(21)本籍不詳、住居大阪市西成区萩之茶屋一一四一六ホテル末広二階二二〇A号室、氏名自称浜田秀徳、五十八歳の男子、遺留金品現金五千九百四十一円・日雇労働者保険者手帳一通。

右の者は、昭和六十年三月二日午後二時頃、大阪市西成区萩之茶屋一一四一六宿宿ホテル末広二階二二〇Aにて発見されたもので、同年二月二十二日頃、同所において脳出血のため死亡したと思われる。

以上五件、身柄引取人不明のため、検死のうえ一―三については北斎場で、四、五については津守斎場で火葬にふしたので、心当りの方は当区役所まで申し出てください。

昭和六十年四月十九日
大阪市 西成区長 荒木 四郎

(22)本籍・住所不詳、氏名自称三村某、四十五歳の男子、身長一六六センチ、体格普通、長髪、色黒、発見時全裸、履服灰色コート・国防色防寒ジヤンパー・灰色ブレザー・ズボン・黒色草履、遺留金品七千六百八十円。

右の者は、昭和六十年三月五日午前十一時頃、大阪市西成区萩之茶屋一一六一三入船温泉にて発見されたもので、同日、同所において急性心不全のため死亡したと思われる。

(23)本籍・住所・氏名不詳、六十歳の男子、身長一五八センチ、中肉、着衣うぐいす色半オーダー・紺色トックリセーター・メリヤスシャツ・半袖肌シャツ・ネズミ色作業ズボン・メリヤスパッチ着用。

右の者は、昭和五十八年十二月二十六日午前六時ごろ、大阪市西成区太子二二一八先路上にて発見されたもので、同日午前三時ごろ同所において凍死したと思われる。

(24)本籍・住所・氏名不詳、五十五歳の男子、身長一五八センチ、中肉、白髪短髪、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十九年一月二十六日午後十時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一〇一〇先路上にて発見されたもので、同日午後七時ごろ同所において死亡(死因不詳)したと思われる。

(25)本籍・住所・氏名不詳、四十五歳五十歳の男子、身長一六〇センチ、ヤセ型、長髪(白髪まじり)、遺留金品一〇〇〇円。

右の者は、昭和五十九年一月二十九日午後一時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋一一〇一〇先路上にて発見されたもので、同日同所において脳挫傷のため死亡したと思われる。

(26)本籍・住所・氏名不詳、六十五歳七十歳の男子、身長一五八センチ、胸部に米粒大のイボ、ガッチリ型、白髪まじりの短髪、遺留金品現金一〇二二円・小銭入れ一個。

右の者は、昭和五十九年一月二十六日午前九時ごろ、大阪市西成区花園北二二一一一五にて発見されたもので、同日午前七時ごろ同所において死亡(死因不詳検査中)したと思われる。

(27)本籍・住所・氏名不詳、四十歳の男子、左肩から胸にかけて桜の刺青、着衣上着黒色ジヤンパー・紺色ニッカズボン、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十九年二月二十三日午前七時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋二二一九一五南海本線東側ガード下にて発見されたもので、同日午前六時ごろ同所において死亡したと思われる。

(28)本籍・住所不詳、氏名自称大渡正、六十歳の男子、遺留金品なし。

右の者は、昭和五十九年二月二十三日午前十二時ごろ、大阪市西成区萩之茶屋三三三八二四にて発見されたもので、同月十七日(推定)同所において死亡(死因不詳検査中)したと思われる。

以上三十二件、身柄引取人不明につき検死のうえ火葬にふしたので、心当りの方は当区役所まで申し出てください。

昭和五十九年四月二十一日

くわい、いかに死なるか

多くの死が...

路上で